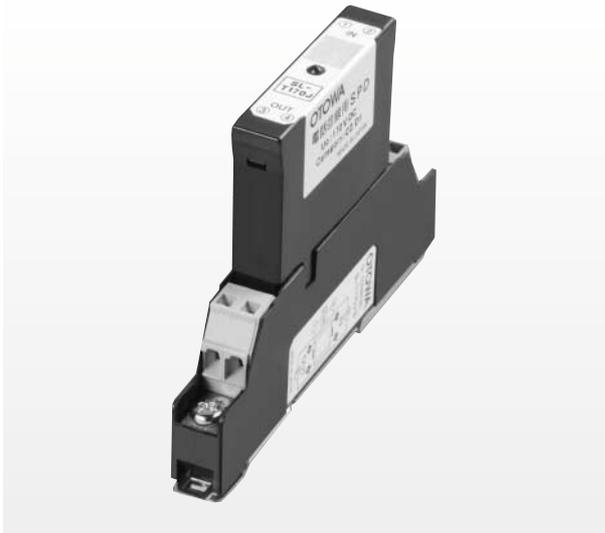


SL-GVJシリーズ  
SL-TJシリーズ



JIS C 5381-21 対応

特長

1. IECカテゴリC2、D1に対応
2. インパルス耐久性  
C2 : 8 / 20 $\mu$ s 10kA (正負・各5回・計10回)  
D1 : 10 / 350 $\mu$ s 5kA (正負・各1回・計2回)
3. DINレール対応
4. プラグインタイプ (点検、交換容易)
5. SPD機能表示付き (別売品 SL-103使用時)
6. RoHS対応

低圧サージ  
対策製品

JIS  
対応

形式

SL - GV J  
 最大連続使用電圧( U<sub>c</sub> )  
 3 : DC 3.1V  
 5 : DC 5.7V  
 12 : DC 13.0V  
 24 : DC 25.2V  
 48 : DC 52.0V  
 スリムタイプ  
 ネジしめつけタイプもあります。

SL - T170J  
 スリムタイプ

特性表

形式	最大連続 使用電圧 U <sub>c</sub>	最大負荷 電 流	電圧防護レベル Up		残留電圧 <sup>注3)</sup>	直列抵抗/線	インパルス耐久性 8 / 20 $\mu$ s <sup>注1)</sup>	インパルス耐久性 10 / 350 $\mu$ s <sup>注1)</sup>	伝送周波数帯域 <sup>注4)</sup> (参考値)
			線 間	対 地 間					
SL-GV3J	DC 3.1V	100mA	30V	400V	14V	9.1	10kA	5kA	DC ~ 4.0MHz
SL-GV5J	DC 5.7V		35V	400V	19V	9.1	10kA	5kA	DC ~ 4.8MHz
SL-GV12J	DC 13.0V		45V	400V	26V	9.1	10kA	5kA	DC ~ 1.1MHz
SL-GV24J	DC 25.2V		60V	400V	50V	9.1	10kA	5kA	DC ~ 2.7MHz
SL-GV48J	DC 52.0V		115V	400V	94V	9.1	10kA	5kA	DC ~ 4.8MHz
SL-T170J	DC 170V	200mA	400V	500V	100V	9.1	10kA	5kA	

注1) 2線合計での標記ですので、各ライン(1線)の値は標記値の1/2になります。

注2) AC回路でも使用できますが、回路電圧のピーク値より大きいU<sub>c</sub>のSPDを選定して下さい。

注3) 8 / 20 $\mu$ s : 5kA短絡回路電流印加時( C2 ) 10 / 350 $\mu$ s : 2.5kA短絡回路電流印加時( D1 )

残留電圧 = SPDが完全に動作した時の電圧値

注4) 減衰 3dB、特性インピーダンス600、参考値

用途

形式	用途例
SL-GV3J	一般用
SL-GV5J	ポテンショメーター用、一般用
SL-GV12J	スローパルス用、一般用
SL-GV24J	DC4 ~ 20mA用、一般用
SL-GV48J	DC10 ~ 50mA用、一般用
SL-T170J	一般電話回線・専用線・ISDN用・ADSL用 「平成19年度公共建築工事標準仕様書(電気工事編)」準拠 「平成18年度建築設備設計基準」準拠

標準付属品

電源接続端子

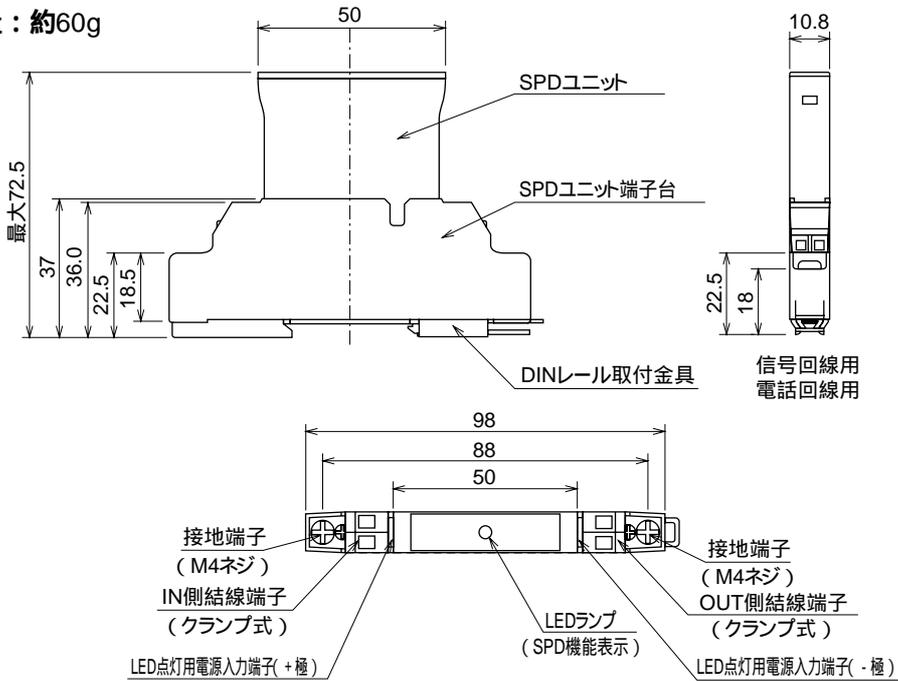
別売品

SL-CN10 : 接続バー

SL-103 : LED点灯用電源

## 外形寸法図

質量：約60g



信号回線用  
電話回線用

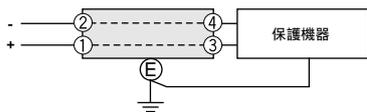
## 取り扱い

### 1. 接続例

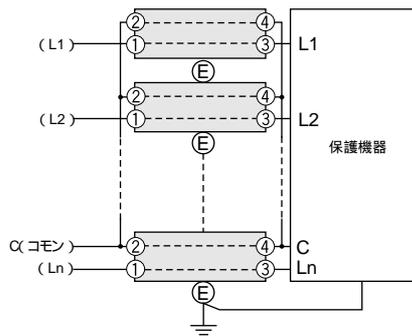
屋外などからの配線された線をIN側、保護する機器からの線をOUT側に接続します。



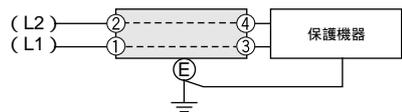
- (1) 信号回線用SPDユニット  
●2線接続の場合



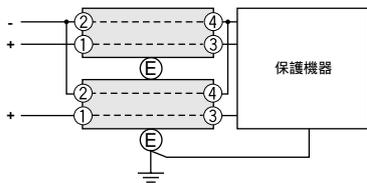
- コモン線と信号ライン接続の場合  
(SPDユニットは信号ラインの本数分使用)



- (2) 電話回線用SPDユニット



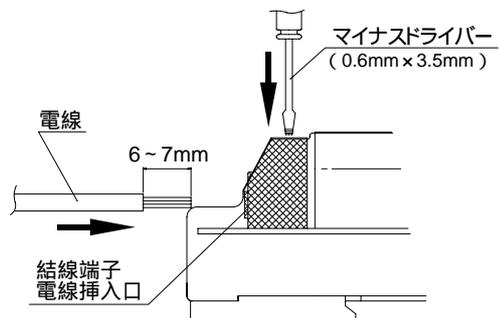
- 3線接続の場合  
(SPDユニットは2台使用)



### 2. 結線方法

結線が可能な電線サイズは、単線 0.3～1.8mm、より線0.3～2mm<sup>2</sup>です。

- (1) 図に示すように電線の被覆を6～7mm剥き、導線部分を出します。
- (2) 結線端子の上部のドライバー挿入口にマイナスドライバーを置き、の矢印方向に垂直に押し込みます。
- (3) 電線挿入口に電線を の方向に挿入し導電部分が見えなくなったらマイナスドライバーを外します。



結線方法

### 3. 接地について

(1) SPDのDINレール取付金具が接地端子を兼ねています。

DINレールを接地として使用する場合は、下図の様にDINレールに5.5mm<sup>2</sup>以上のIV線を用いて、接地して下さい。

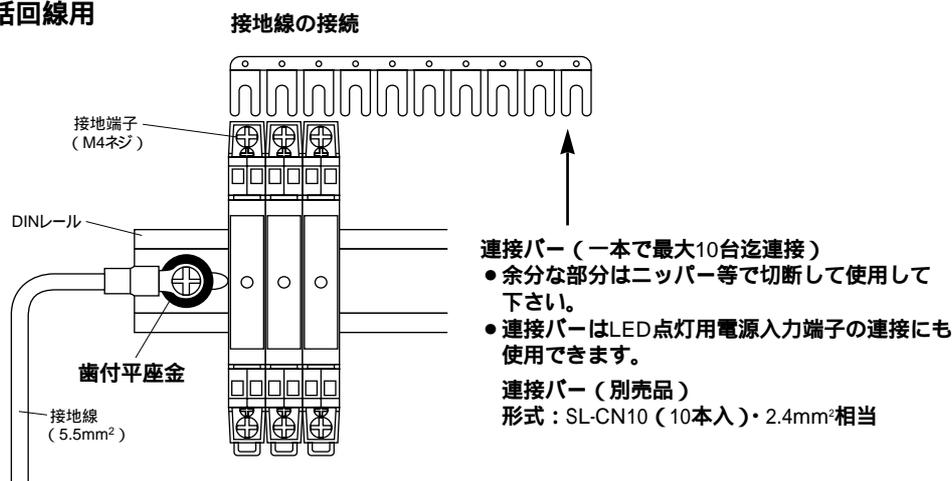
DINレールに接地線を接続する時は、接触を確実にを行うために歯付平座金を使用して下さい。

(2) 直接盤に取り付ける場合やDINレールを接地として使用しない場合は、接地端子（M4ネジ）を 接続バー（別売品）又は2mm<sup>2</sup>IV線（圧着端子2-4Sタイプ使用）で接続します。

その内のひとつの接地端子から5.5mm<sup>2</sup>IV線（圧着端子5.5-4Sタイプ使用）で接地して下さい。接地端子M4ネジの最大締め付けトルクは2.0N・mです。

(3) SPDの接地線と機器の接地線は、必ず接続し1点で接地して下さい。

信号回線用、電話回線用



### 4. SPD機能表示について

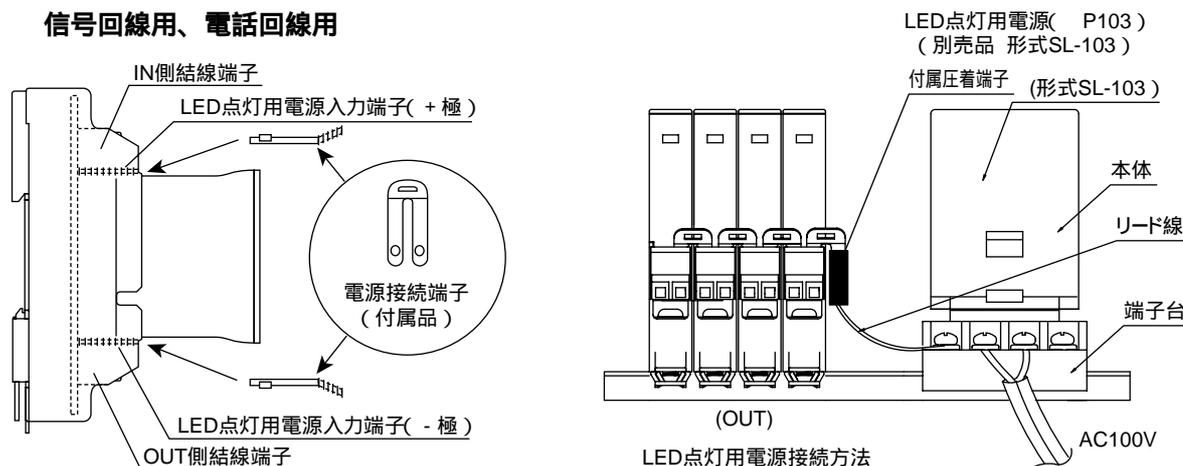
SPD機能表示（LEDランプが消灯し、交換時期を知らせる）により、点検が容易にできます。

この機能を動作させるためには、外部電源DC3～5Vが必要です。（別売品 LED点灯用電源 形式：SL-103）

●下図の様に付属の電源接続端子で連結する場合の注意点

電圧の異なる回線が混在し、いずれかの回線が接地されている場合、回線に支障をきたす場合がありますので連結しないでください。

信号回線用、電話回線用



### 5. 保守

(1) 日常点検時に、本製品のSPD機能表示のLEDランプが点灯する事を確認して下さい。

LED点灯用電源端子に外部電源が接続されていない場合、点灯しません。乾電池でDC3V～4.5Vを供給して、点灯の有無を確認して下さい。

常時、LEDランプを点灯させる場合は、必ず専用のLED点灯用電源(別売品 形式SL-103)をご使用下さい。

(2) SPD機能が無くなれば、LEDランプが消灯します。速やかに新品のSPDユニットと交換して下さい。